

林道橋梁保全整備計画 (橋梁長寿命化修繕計画)

公表版



平成 27 年 5 月

長野県 飯田市

1. 林道橋梁保全整備計画（長寿命化修繕計画）策定の背景と目的

【 背景 】

長野県飯田市（林務課）が管理する林道には、平成 26 年 12 月現在 115 橋（121 径間）あります。（※径間とは橋脚などで支えられている上部工の一跨ぎを意味します。）

このうち建設後 50 年を経過する高齢化橋梁は平成 26 年度末時点で 37 橋あり、全体の 32% を占めます。10 年後にはこの割合が 53% となり急速に橋梁の高齢化が進みます。

架設後 50 年以上経過する橋梁の占める率の現在と今後の推移を次の図 1 に示します。

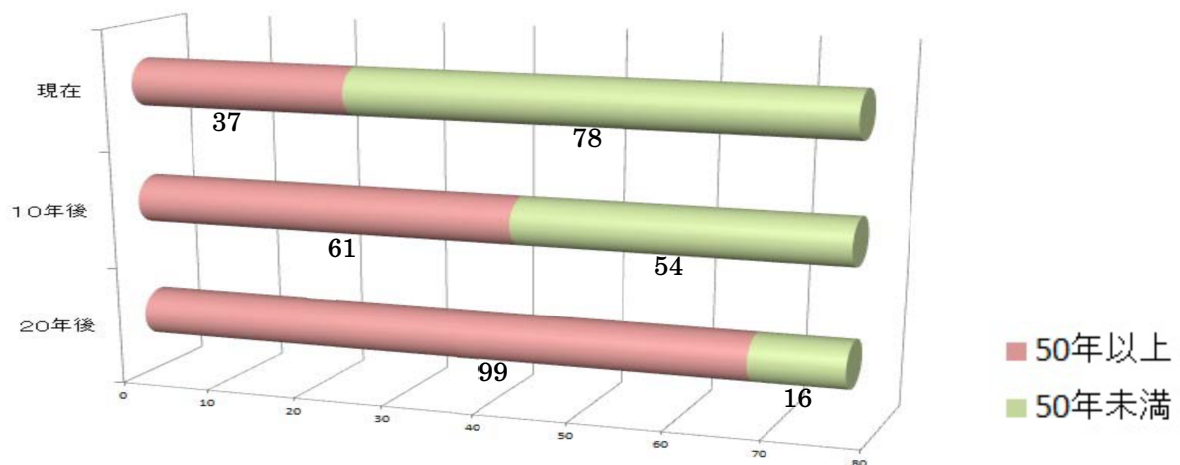


図 1 架設 50 年以上の橋梁の推移

高齢化した橋梁の急速な増大に伴う修繕費の急激な増大を避け、着実に橋梁の維持管理を進める必要があります。

橋梁の現状を把握するため、長野県が技術承認している点検マニュアルの手法で平成 24 年度から平成 26 年度に点検した結果、経年劣化ありと判断された橋梁が 108 橋 113 径間でした。

【 目的 】

このような背景から、道路交通の安全性を確実に確保しながら、計画的に橋梁の補修を行い、そのコストを縮減することに加え、毎年の補修予算を平準化する必要もあります。

また長寿命化は単に、構造物の延命化という概念ではなく、構造物が持つ機能の確保や資産価値としての維持（向上）のための取組みとなります。よって「長寿命化する（計画を策定する）」ということは、「どの橋梁をどの程度寿命を延ばすのか」ということの他、資産価値や便益の維持（向上）、落橋及び人的被害の危険度の低減のための維持管理の実践であり、その結果としての長寿命化であります。つまり、長く大切にするために「どのように維持管理し、長寿命化を図るのか」ということが重要なテーマとなります。

今後、急速な老朽化橋梁の増大を目前に、財政状況の制約がある中で、さらに効率的で合理的な維持管理を実施していかなければなりません。そのために、既存ストックの有効活用による長寿命化に取り組む必要があります。

今回は 115 橋（121 径間）のうち、点検した結果経年劣化ありと判断された橋梁 108 橋（113 径間）を対象として、林道橋梁保全整備計画（長寿命化修繕計画）を策定しました。

管理橋梁 115 橋の構造材料種別の構成を次の図 2 に示します。なお、RC は鉄筋コンクリート、PC はプレストレスト・コンクリート（鋼材で締め付けてコンクリートを補強したもの）、鋼は鉄橋を意味します。

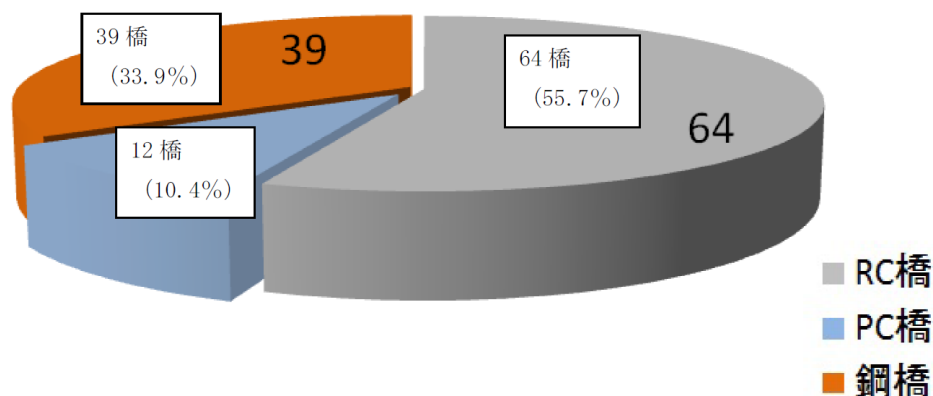


図 2 橋（上部工）部分の構造材料種別の構成

表 1 橋梁の健全度ランク

	国	飯田市林務課
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。	橋梁構造の観点から、次回点検の 5 年以内に緊急対応の必要がある。
E2	その他、緊急対応の必要がある	J R ・ 歩行者 ・ 駐車場 ・ 公園等と交差して対人被害が予測される橋梁
S	詳細調査の必要がある	詳細調査の必要がある
C	速やかに補修等を行なう必要がある	速やかに補修等を行なう必要がある
B	状況に応じて補修を行なう必要がある	状況に応じて補修を行なう必要がある
M	維持工事で対応する必要がある	舗装更新または、高欄・地覆・排水の部分更新
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行なう必要がない	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行なう必要がない

※点検結果により緊急に対応しなければ通行できなくなる橋はありません。

飯田市林務課の対象橋梁の健全度のランク別の径間数とその比率を図 3・表 2 に示します。

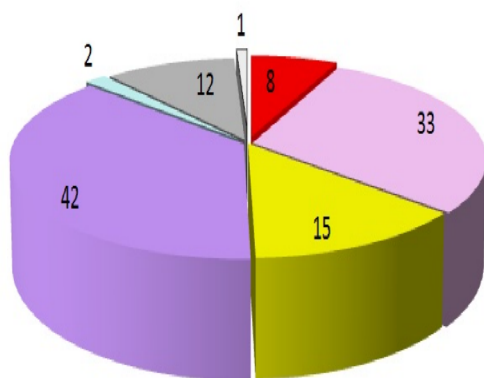
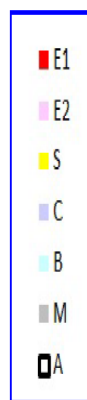


図 3 健全度ランク数



ランク	径間数	%
E 1	8	7. 1
E 2	33	29. 2
S	15	13. 3
C	42	37. 2
B	2	1. 8
M	12	10. 6
A	1	0. 8
	113	100. 0

表 2 健全度ランク比率

2. 橋梁長寿命化計画

【対象橋梁の長寿命化計画に関する基本方針】

まず各橋梁の管理情報と現況調査に基づき、①重要度 ②損傷度 ③緊急度を点数化して、その総和を総合評価点とし、基本的にはこの点数の高い（つまり重要度・損傷度・緊急度が総合的に高い）橋梁順に補修対象とします。その上で、各橋梁の修繕費・架け替え費などを算定し、コスト縮減効果の判断を行い、効果のあるものについての一覧表を作成します。

重要度の点数は表3に示す各項目の該当点数の総和を重要度の点数とします。なお大型車交通量の点数は、表中の数値と「橋梁点検シート（レベル2）」の評価点を掛けたものとします。

損傷度の点数は点検結果により「橋梁点検シート（レベル2）」が作成され、シートにより点数評価されています。

表3 重要度の点数

重要度	大型車交通量	多い	2.0	× L2 加重点数
		中	1.5	
		少ない	1.0	
	S39 示方書使用		50	
	橋長	50m以上	50	
		15m～49.9m	25	
		15m未満	0	
	林道規格	(1 級)	30	
		2 級	20	
		3 級	10	
	融雪剤影響路線		50	
	観光利用	多い	50	
		中	25	
		少ない	0	
	水道・電力等重要施設がある		50	
	孤立集落		50	
	ライフライン橋梁		50	
	森林整備計画がある		100	
	(補修対象外橋梁)		-100	
	活断層	確実度Ⅰの箇所から5Km以内	10	
		確実度Ⅱ、Ⅲの箇所から5Km以内	5	
		活断層から5Km以上離れている	0	
	化学作用	温泉地 下流1Km以内	10	
		河床が鉄分の付着により褐色	5	
		上記以外	0	

表4 緊急度の点数

キーワード			点数	選定方法
緊急度	E1	危険	100	レベル2点検時に添付された写真に対し、この計画策定方法に精通した橋梁の専門家が竣工年次、形式なども考慮して、複数人でコメントする。
		架け替え or 架替	100	
		アル骨	70	
		劣化期	70	
	E2		100	【重要度】道路との交差+歩行者有
				【重要度】鉄道との交差
				【重要度】鉄道、駐車場・公園・高速道路との交差
				上記のどれか1つ △
	S			【L2】床版 or コンクリート桁の剥離が10点以上
		人的被害	100	桁下3.0以上で、高欄が無く、転落事故の可能性がある場合
		詳細調査	50	原因特定が目視だけでは難しい早期劣化など
	C	早期 or 早急	15	3つのキーワードが1つでもあれば“C”
		補強対象	50	
		補修対象	30	
	B		20	【L2】当該径間の部品に1つでも20点があれば“B”
	M	経時観察	15	【L1】高欄、地覆、排水のいずれかに○がある or 経時観察のキーワードがある
		清掃	5	特に排水装置
	A		0	上記以外

緊急度の判定は、E1 ≧ E2 ≧ S ≧ C ≧ B ≧ M ≧ A の順とし、必ず 1 橋 1 つの評価とします。但し点数は全てカウントします。(表 1 橋梁の健全度ランク 図 3 健全度ランク数表 2 健全度ランク比率 参照)

【 橋梁長寿命化による修繕計画 】

- ① 年次計画は、補修対象となった全橋を補修し、なおかつ道路管理者が平成 27 年度に補修計画している橋梁も含めて 10 カ年を目安に計画しました。
- ② 今後 5 カ年を目安に点検を繰り返し、その都度計画を見直すことになります。
- ③ 補修順位は、橋面防水を優先し、上部工内に侵入した水が自然蒸発する時期を経て着手するよう計画しました。
- ④ 計画・調査を優先し、その後補修施工となるよう計画しましたが、軽微なものは同時期に計画しています。
- ⑤ 軽微な補修（伸縮部の段差、舗装の部分補修等）は調査・設計費を見込まないで計画しています。
- ⑥ 床版及び下部工等の軽微なクラックは注入工法で施工可能ですが、今回の調査結果に基づきほとんどが二方向またはクラック幅が大きい場合は、断面修復工法にて計画しています。
- ⑦ 総合評価点順に補修することと、E1・E2 ランクと評価された橋梁を優先することを念頭に、年間予算がなるべく平準化するよう計画しました。
- ⑧ 年間予算は、5,000 万円を概ねの目安として計画しました。

3. 健全度の把握及び日常的な管理に関する基本方針

【 定期点検の実施と日常の維持管理の徹底 】

日常的な維持管理としては、年数回のパトロールと、年 1 回の巡回、そして定期的に簡易点検を繰り返し、異常の早期発見に努めるとともに、以下のような小規模な維持作業を随時実施します。

◎ 簡易な維持作業

- ・ 路面の舗装補修
- ・ 排水桝、沓座付近の土砂撤去等

◎ 年数回のパトロールの重点監視箇所

- ・ 路面のクラック・穴、伸縮部の段差
- ・ 高欄（ガードレール）の鉛直方向のたわみ
- ・ 外力（交通事故）等による変形

◎ 年 1 回の巡回の重点監視箇所（春）

- ・ 排水柵の詰まり
- ・ 支承付近の土砂
- ・ 伸縮装置の詰まり

◎ 定期的に行う簡易点検

・ 「あなたにもできる橋の点検」NPO 法人橋梁メンテナンス技術研究所編 の手法に従い、前回点検の写真をプリントアウトして比較しながら点検を継続することにより、橋梁の損傷状況を把握し、安全の確保に努めます。

これらの点検により、経年劣化の進行や急激な劣化進行が認められた場合、緊急度 E1,E2 を除いてはデータベースのデータ修正をその都度行い、次回の計画立案に備えます。しかし E1,E2 については専門家の意見を聞き、適宜対応します。

【 点検・診断の方針 】

5 年に一度の点検・診断を定期的に行いますが、管理については重要度も加味して行います。これは道路橋と異なる林道特有の重要度があるためです。

4. 長寿命化修繕計画による効果

【 コスト縮減効果 】

対症療法型維持管理手法（壊れたら架け替えることを前提としてほとんど補修を行わない場合）と、予防保全型手法（補修を行い、長寿命化を図った場合）では、橋梁の寿命とコスト縮減効果に違いが出ます。

その費用対効果を年単位で換算し、コスト縮減効果があるかどうかを1橋ずつ検証しました。その結果 飯田市林務課では、11 橋を除き 長寿命化を図ったほうが、コスト縮減効果が上という結果を得ました。その縮減効果は 0.07%から 37.9%で、平均 21.37%となり、長寿命化計画の有効性が確認されました。

また林道にかかる橋梁のうち、経年劣化ありと判断された 108 橋 113 径間についての計画では、対症療法型維持管理手法と、予防保全型手法では、橋梁の寿命とコスト縮減効果に違いが出ます。

架け替え換算費を用いた手法では、従来の対処療法的管理手法を用いるより予防保全型維持管理手法を用いた方が、総額 9 億 4500 万円今後の管理費が安くなるといった結果となりました。しかし現状の橋梁の損傷状態は今まで放置されており、補修工法としては対処療法的手法を採用した橋梁が多く、理想的な予防保全型管理には程遠い現状です。

また、維持費を考慮した場合では、長寿命化計画で「修繕したほうがコスト縮減効果が高い」と評価された橋梁を修繕するとした場合の費用と、100 年間対象橋梁を予防保全の繰り返しで維持していく費用との合計を、修繕しないで架け替えるとした費用と比較した結果、今回補修を行い、同時に維持管理を続ければ総額 11 億 6900 万円維持管理費の縮減効果が期待できます。

ただし、ここで維持費とは、① 舗装の防水補修② 伸縮装置の交換③ 鋼橋の塗り替え④ 簡易点検⑤ 長寿命化計画の見直し費用に限っています。また大型補強工事は実態を踏まえ、1 橋につき 1 回とします。理由は床版の下面増厚工法などは 2 度できないからです。また予算の制約があり、実際に修繕の対象となるのは、重要度・損傷度・緊急度が総合的に高い橋梁から、順次修繕可能な橋梁について長寿命化計画が策定されているため、実際には一度にこれだけの維持費縮減が行われるわけではありません。

【 通行の安全確保 】

計画的に修繕を行うことにより、重大損傷による橋梁の通行止めを予防する効果があります。

5. 計画策定部署担当部署及び意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

計画策定担当部署

飯田市 産業経済部 林務課 森林保全係 TEL0265-22-4511

本計画は以下の学識経験者の方からご意見をいただき策定いたしました。

信州大学工学部元教授(土木設計学、コンクリート工学) 長 尚 氏

対象橋梁一覧

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

凡例：概ねの対策時期

	橋梁名	路線名	上部工 橋材	橋長	橋暦		最新 点検 年度	対策の内容・時期									
					完成 年度	供用 年数		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
1	入橋沢橋	林道東沢線	RC橋	6.0	S36	53	H26	舗装・伸縮・上部工・下部工									
2	砂古谷橋	林道松沢和合路線	PC橋	16.0	S40	49	H24	舗装・伸縮・上部工・下部工・その他									
3	バイキリ沢1号橋	林道松川入線	RC橋	10.0	S35	54	H24	上部工・その他									
4	無名橋2	林道南沢線	RC橋	6.0	S36	53	H26	上部工・下部工・その他									
5	割沢橋	林道松川入線	RC橋	30.9	S35	54	H24	舗装・伸縮・上部工									
6	6号橋	林道赤石線	RC橋	8.6	S45	44	H24	下部工									
7	押の沢橋	林道押の沢線	鋼橋	12.0	S54	35	H26	舗装・支承・伸縮・上部工・下部工・その他									
8	箸沢橋	林道松川入線	RC橋	8.0	S29	60	H24	舗装・伸縮・上部工・下部工									
9	万古大橋	林道千遠線	鋼橋	85.0	S46	43	H25	その他									
10	本谷橋	林道東沢線	鋼橋	19.0	S51	38	H26	舗装・伸縮・下部工・その他									
11	法月橋	林道松沢和合路線	鋼橋	25.4	S44	45	H24	舗装・伸縮・上部工・下部工・その他									
12	唐澤橋	林道千遠線	鋼橋	42.9	S46	43	H25	舗装・支承・伸縮・上部工・その他									
13	榎窪沢橋	林道千遠線	RC橋	6.5	S44	45	H25	舗装・上部工・下部工・その他									
14	松沢橋	林道松沢和合路線	RC橋	4.8	S41	48	H24	舗装・上部工・下部工・その他									
15	清水橋	林道松川入線	鋼橋	20.5	S52	37	H24	舗装・伸縮・下部工									
16	畑ノ沢橋	林道畑の沢線	RC橋	16.0	S38	51	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工									
17	2号橋	林道赤石線	鋼橋	17.0	S42	47	H24	舗装・伸縮・上部工・下部工									
18	小舟沢橋	林道松川入線	RC橋	10.0	S30	59	H24	舗装・伸縮・上部工・下部工									
19	入道橋	林道松川入線	鋼橋	25.5	S25	64	H24	舗装・伸縮・上部工・下部工・その他									
20	小松川橋	林道松川入線	RC橋	12.0	S36	53	H24	舗装・伸縮・上部工・下部工・その他									
21	一ノ沢橋	林道野底山線	RC橋	8.0	S37	52	H25	舗装・伸縮・上部工・その他									
22	蛇洞橋	林道松沢和合路線	RC橋	6.1	S38	51	H24	舗装・伸縮・上部工・下部工・その他									
23	佐倉橋	林道押の沢線	鋼橋	46.0	S58	31	H26	舗装・支承・伸縮・上部工・下部工									
24	7号橋(下栗橋)	林道赤石線	鋼橋	22.5	S52	37	H24	舗装・支承・伸縮・上部工・下部工・その他									
25	大舟沢1号橋	林道松川入線	RC橋	5.0	S30	59	H24	下部工・その他									
26	三ツ沢1号橋	林道千遠線	鋼橋	16.5	H04	22	H25	上部工・下部工・その他									
27	谷沢橋	林道千遠線	RC橋	6.0	S43	46	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工・その他									
28	猫背橋	林道東沢線	鋼橋	15.2	S49	40	H26	伸縮・上部工・その他									
29	1号橋	林道赤石線	RC橋	14.0	S38	51	H24	舗装・伸縮・上部工・下部工									
30	屏風沢3号橋	林道千遠線	鋼橋	13.5	S53	36	H25	舗装・支承・伸縮・上部工・下部工・その他									
31	日陰沢橋	林道野底山線	RC橋	12.1	S39	50	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工									
32	瀬戸沢2号橋	林道松川入線	RC橋	3.8	S29	60	H24	舗装・伸縮・上部工・下部工・その他									
33	白ナギ橋	林道松川入線	RC橋	7.0	S35	54	H24	伸縮・上部工・その他									
34	5号橋	林道赤石線	鋼橋	20.4	S53	36	H24	支承・下部工・その他									
35	屏風沢2号橋	林道千遠線	鋼橋	10.4	S48	41	H25	舗装・上部工・下部工									
36	尼の沢橋	林道畑の沢線	RC橋	5.2	S42	47	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工・その他									
37	瀬戸沢1号橋	林道松川入線	RC橋	8.0	S29	60	H24	舗装・伸縮・上部工・下部工・その他									
38	河原小屋沢橋	林道東沢線	RC橋	5.0	S37	52	H26	舗装・上部工・下部工・その他									
39	赤谷橋	林道赤石線	鋼橋	12.0	S54	35	H26	舗装・伸縮・上部工									
40	タル沢1号橋	林道鳩打線	RC橋	4.0	S38	51	H26	舗装・上部工・下部工・その他									
41	桶小屋沢橋	林道東沢線	RC橋	12.8	S38	51	H26	舗装・伸縮・上部工									
42	猪子沢橋	林道御池山線	鋼橋	17.6	S59	30	H26	舗装・伸縮・上部工・その他									
43	牧小谷沢1号橋	林道松川入線	RC橋	3.1	S36	53	H24	舗装・上部工・下部工									
44	大島橋	林道大島線	RC橋	21.0	S38	51	H25	舗装・支承・伸縮・上部工・下部工									
45	3号橋	林道赤石線	鋼橋	22.5	S57	32	H24	舗装・上部工・その他									
46	4号橋	林道赤石線	鋼橋	12.5	S57	32	H24	舗装・上部工・その他									
47	備後橋	林道野底山線	RC橋	5.1	S36	53	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工・その他									
48	二ノ沢1号橋	林道鳩打線	RC橋	3.2	S34	55	H26	舗装・上部工・下部工・その他									
49	猿間洞1号橋	林道千遠線	鋼橋	12.0	S54	35	H25	舗装・支承・伸縮・上部工・下部工									
50	猿間洞2号橋	林道千遠線	鋼橋	12.1	S54	35	H25	舗装・伸縮・下部工									
51	下川沢2号橋	林道千遠線	鋼橋	25.5	S45	44	H25	伸縮・上部工									
52	小膳沢1号橋	林道松川入線	RC橋	3.9	S27	62	H24	下部工・その他									
53	屏風沢1号橋	林道千遠線	鋼橋	10.4	S47	42	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工									
54	ボッタ沢橋	林道赤石線	鋼橋	15.5	S53	36	H24	伸縮									

注) 架設年度は推定を含みます。

再点検結果により、補修内容に変更がある場合があります。

凡 例

舗 装	舗装、防水
支 承	支承補修
伸 縮	伸縮装置補修
上部工	橋桁修繕、鋼橋塗装、床版補修
下部工	橋台、橋脚の補修
その他	高覧等の補修

対象橋梁一覧

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

凡例：概ねの対策時期

	橋梁名	路線名	上部工 橋材	橋長	橋暦		最新 点検 年度	対策の内容・時期									
					完成 年度	供用 年数		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
55	弓矢沢橋	林道弓矢沢線	RC橋	15.1	S37	52	H25	舗装・上部工・下部工									
56	馬小屋沢1号橋	林道千遠線	鋼橋	25.0	S54	35	H25	下部工									
57	馬小屋沢2号橋	林道千遠線	PC橋	9.5	S58	31	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工									
58	クツ次郎橋	林道野底山線	RC橋	6.0	S41	48	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工									
59	入ノ堂ヶ入橋	林道野底山線	RC橋	4.1	S41	48	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工・その他									
60	風穴橋	林道東沢線	RC橋	9.6	S53	36	H26	上部工・その他									
61	池の平橋(1)	林道野底山線	鋼橋	25.1	S56	33	H25	伸縮・下部工									
62	岩頭沢1号橋	林道松川入線	RC橋	4.0	S06	83	H24	舗装・上部工・下部工									
63	赤崩沢橋	林道赤石線	鋼橋	15.5	S55	34	H24	舗装・伸縮・その他									
64	コントマ沢1号橋	林道鳩打線	RC橋	5.2	S40	49	H26	舗装・上部工・下部工・その他									
65	下川沢1号橋	林道千遠線	RC橋	6.5	S52	37	H25	伸縮									
66	無名橋1	林道千遠線	PC橋	10.5	S54	35	H25	舗装・伸縮・上部工									
67	一の沢橋	林道闇り沢線	RC橋	4.0	S41	48	H26	上部工・下部工・その他									
68	無名橋1	林道南沢線	RC橋	3.0	S41	48	H26	伸縮									
69	西ガニ沢橋	林道野底山線	RC橋	12.5	S38	51	H25	舗装・支承・伸縮・上部工・下部工									
70	猪子沢橋第二	林道御池山線	鋼橋	24.6	S60	29	H26	伸縮									
71	三ツ沢2号橋	林道千遠線	RC橋	8.6	H05	21	H25	伸縮・上部工									
72	明焼橋	林道野底山線	RC橋	12.6	S37	52	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工									
73	無名橋棧道橋1	林道赤石線	鋼橋	9.2	S50	39	H24	舗装・伸縮									
74	馬小屋沢4号橋	林道千遠線	PC橋	13.4	S59	30	H25	伸縮・下部工									
75	無名橋棧道橋2	林道赤石線	鋼橋	10.6	S53	36	H24	舗装・支承・伸縮									
76	水見沢橋	林道御池山線	PC橋	12.5	S60	29	H26	伸縮									
77	下のホッポラ橋	林道野底山線	RC橋	4.1	S40	49	H25	舗装・上部工・下部工・その他									
78	馬小屋沢3号橋	林道千遠線	PC橋	9.5	S56	33	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工									
79	コスマ橋	林道赤石線	鋼橋	32.9	S55	34	H24	舗装・伸縮・上部工									
80	ガッチュー橋	林道野底山線	RC橋	10.1	S35	54	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工									
81	無名橋棧道橋5	林道赤石線	PC橋	8.6	S54	35	H24	舗装・上部工									
82	堂ヶ入橋	林道野底山線	RC橋	18.0	S36	53	H25	舗装・伸縮・上部工・下部工									
83	押出沢1号橋	林道千遠線	PC橋	10.0	H08	18	H25	伸縮									
84	赤石大橋	林道赤石線	鋼橋	78.0	S60	29	H24	舗装・その他									
85	押の沢大橋	林道押の沢線	鋼橋	55.0	S58	31	H26	伸縮									
86	割沢橋	林道野底山線	鋼橋	27.6	S60	29	H25	舗装・上部工									
87	馬小屋沢5号橋	林道千遠線	鋼橋	24.5	S60	29	H25	舗装・支承									
88	崩沢橋	林道赤石線	鋼橋	32.8	S60	29	H24	舗装・伸縮									
89	無名橋棧道橋4	林道赤石線	PC橋	11.5	S52	37	H24	上部工・その他									
90	小嵐橋	林道千遠線	鋼橋	34.1	H06	20	H25	伸縮									
91	神燈沢橋	林道ツベタ沢線	RC橋	5.4	S61	28	H26	伸縮・上部工									
92	無名橋棧道橋6	林道赤石線	PC橋	6.0	S51	38	H24	上部工									
93	ボーズ沢1号橋	林道鳩打線	RC橋	3.0	S40	49	H26	舗装・伸縮・上部工・その他									
94	無名橋2	林道千遠線	RC橋	7.5	S48	41	H25	伸縮									
95	無名橋	林道鰻沢線	RC橋	4.0	S33	56	H26	舗装・伸縮・上部工・下部工									
96	小鈴橋	林道野底山線	鋼橋	25.3	S63	26	H25	舗装・伸縮・上部工									
97	無名橋2	林道蕨平線	RC橋	6.6	S49	40	H26	伸縮・下部工									
98	コントマ沢2号橋	林道鳩打線	RC橋	4.8	S38	51	H26	舗装・上部工・その他									
99	ツベタ沢橋	林道ツベタ沢線	RC橋	8.5	H05	21	H26	伸縮									
100	無名橋2	林道観音沢線	RC橋	4.6	S37	52	H26	舗装									
101	渡瀬橋	林道梶谷線	鋼橋	20.0	H09	17	H26	伸縮									
102	無名橋1	林道観音沢線	RC橋	4.0	S38	51	H26	その他									
103	無名橋1	林道蕨平線	RC橋	6.6	S51	38	H26	舗装・上部工									
104	蛇洞橋	林道鷹ノ巣線	RC橋	8.5	S62	27	H26	伸縮・上部工									
105	鰻沢1号橋	林道鳩打線	RC橋	7.4	S52	37	H26	舗装・伸縮・上部工									
106	大モチ洞1号橋	林道鳩打線	RC橋	3.0	S35	54	H26	舗装・上部工									
107	池の平橋(2)	林道野底山線	RC橋	8.0	S56	33	H25	舗装・伸縮・上部工									
108	長つるね橋	林道闇り沢線	RC橋	4.0	S49	40	H26	舗装・上部工									

注) 架設年度は推定を含みます。

再点検結果により、補修内容に変更がある場合があります。

凡 例

舗 装	舗装、防水
支 承	支承補修
伸 縮	伸縮装置補修
上部工	橋桁修繕、鋼橋塗装、床版補修
下部工	橋台、橋脚の補修
その他	高覧等の補修